

北摂

テーマは「これからのボランティア活動と連絡会の役割」

北摂ブロック交流会

平成14年度2回目の交流会が、高槻市の現代劇場(市民会館の愛称)で開催され、早春の肌寒い小雨まじりのお天気のなか、各市ボラ連・担当職員など、総勢65名が参加しました。

北摂のボランティアが交流するようになって、高槻市では3回目となり、いつも堅い内容が多いという声がか聞かれましたが、今回も第一部・第二部の構成で、より多くの方々の交流と研修を目指したものにしました。



第一部の全体会では、大阪府立大の藤井講師の司会で、なごやかで楽しい内容になりました。豊中市の山口ボラ連副会長から、ボランティア活動推進センター「ぶらっと」を拠点にした活動の紹介、池田市の高橋ボラ連会長は、ボランティア意識調査の報告、池田市公益活動促進協議会の設置に関連して、NPOと連絡会の連携について、高槻市の吉田会長からは、ボランティアの高齢化、有償・無償、市民活動の活発化に伴う活動拠点、財源などの課題、さらに

新たに高槻市が設置した市民公益活動サポートセンターとの連携などについて問題提起が行われるなど、三者とも第二部のテーマに関連する報告になりました。

が、小地域ネットワーク活動とうまく連携されていない地域がまだ多いという点、②では、まだスタートしていないのでよくわからないが、「地方自治体が弾力的に事業展開を行うことができる」という点で、各市により事業内容に差ができるのではないかと懸念も聞かれました。③では、NPO法人とボランティアグループの違いや役割などについて、まだ情報発信が十分でないことが感じられました。

河北

朗読ボランティアグループ「ゆりかご」

門真市ボランティアセンター

朗読ボランティアグループ「ゆりかご」では、市の障害福祉課が主催の朗読奉仕員養成講座の修了生を中心に、現在18名の会員で、本や資料の音声録音を録音するボランティア活動を行なっています。門真市に平成12年7月に新しくできた保健福祉センターの録音室で、市民の方から依頼された小説・童話・家電の取扱説明書などの音声録音や、市の広報車の録音をしたり、ボランティア交流会、朗読の発表をす



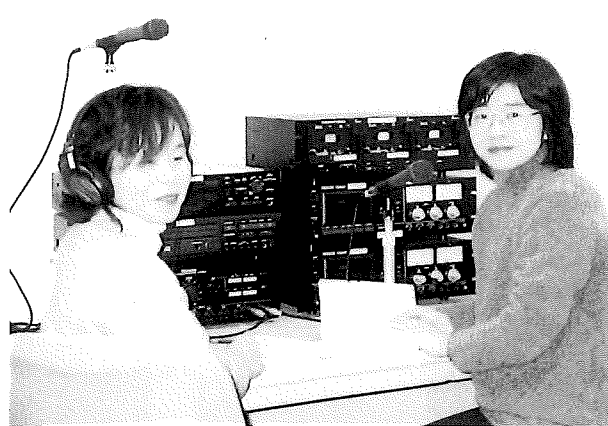
るなどしています。

録音テープは目の不自由な方、老眼で字が読みにくい方、本を読むのはおっくうだけど耳で聞いてみたいと思われる方など、どなたでもご利用いただけます。

また、「ゆりかご」では、毎月第一水曜日の午前10時から12時まで、同じ保健福祉センターのボランティアルームで朗読の勉強会を開いています。朗読に興味のある方や音声訳を希望される方は、門真市ボランティアセンターまで、ぜひお問い合わせください。

中尾幸見

■問い合わせ先
門真市ボランティアセンター
(門真市保健福祉センター内)
TEL 06・6902・6453



河南

LIICはびぎので再スタート

河南ブロック交流会

河南ブロックの交流会は二巡めに入り、3月7日、LIIC(リック)はびぎの(生活・文化・情報)などで市民が交流できる素敵な施設)で、羽曳野ボラ連の出迎えを受けました。平成10年にも、立派な総合福祉センターでの意見交換と地域リハビリセンターでの体験などをさせてもらったのですが、今回、午前中はそのLIIC館長の笠井さ

んの講演で、「日本文化云々」という演題や歴史資料のレジュメを離れての軽妙な日本人論には思わず笑いを誘われましたし、さりげなく色々な事業に市民ボランティアの協力があることに



も触れられ、いい出だしになりました。LIIC自体が会社方式で運営されていると後で聞きましたが、市民の活力を引き出せる雰囲気があることは、これからのボランティア活動にも大きな力となることでしょう。

午後は、参加者40名あまりを4つに分けたグループ討論で、せんだって実施した河南ブロック状況調査にあったボランティアの高齢化や男性ボラの少数問題、活動助成金の問題、全国ボランティアフェスティバルへの参加などを討論しました。時間が足りず、深めることはできませんでしたが、毎回、継続して知恵を出し合うべき課題ですから、今後の交流会にも期待したいと思います。お土産として作業所の美味

藤井寺市社会福祉協議会 ボランティアセンター

藤井寺市北岡1-2-8
TEL 0729-38-8220
FAX 0729-38-8221

福祉まつりではボランティア連絡会が大活躍

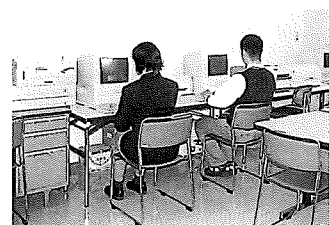
藤井寺市役所の北向かい、市民総合会館に隣接する福祉会館（ふれあいセンター）に入っているのが藤井寺市ボランティアセンター。広々とした会館1階ロビーはコミュニケーションスペースとして市民に開放され、ボランティアグループが打ち合わせなどに利用することも少なくありません。

センターでは現在、11の団体と130名のボランティアが登録していますが、人口（6万7000人）から考えれば、その数は決して少なくないと言えます。

そしてこの特徴は、個人・団体を問わず、実に多彩な演芸ボランティアが活躍している点。「キーボードや大正琴などのグループに加え、手品やハーモニカ、日本舞踊の個人ボランティアがおられ、施設訪問や小地域ネットワーク活動などでは大活躍していただいています」とコーディネーターの西脇三保子さん。

その他、点字、手話、朗読、歌体操などのグループがあり、それぞれの分野で活躍しています。平成13年には「ボランティアのまちづくり」に向けて、これら11の登録団体でボランティア連絡会を結成。毎年の「ふくしまつり」では市内の福祉関係団体とも手をつなぎ、また当事者の方々とも一緒になって「連絡会の皆さんが企画の段階から当日の会場運営まで担ってくださいます。来年度で3年めとなりますが、こうした交流を通じて横の連帯感も大きく育まれつつあります」と西脇さん。

昨春ここに着任したばかりですが、日々のコーディネートに加え、毎月発行している情報紙「プラム」の制作、さらに最近では教育現場から総合的な学習についての相談や依頼も多く、「周りの先輩に助けをいただきながら嬉しい悲鳴をあげています」と語ります。今後の課題としては「市民の皆さんから“あったらいいな”という声を寄せていただいているホームページや、日曜大工、子育てサークルなどを立ち上げてサポートしていきたい」とのこと。そのフレッシュな感性で、藤井寺のボランティアをますます盛り上げていただきたいと思います。



市民に開放されたボランティアルームにはOA機器が完備しています

泉大津市社会福祉協議会 ボランティアセンター

泉大津市東雲町9-15 市立総合福祉センター内
TEL 0725-23-1393
FAX 0725-23-1394

障害者のためのボランティア活動が中心

泉大津市役所に隣接する市立総合福祉センター内にあるボランティアセンター。現在、10グループの登録ボランティアが所属し、手話、点字、朗読、さわる絵本、筆記通訳、精神障害者保健福祉ボランティアなどの活動が行われています。さまざまな障害者福祉のための活動が中心になっているのが特長です。そのため、小中学校の「総合的な学習の時間」に多数のボランティアさんが活躍しています。460人の登録ボランティアのうち、160人がグループ活動に参加。各グループとも週に1回程度定例会が開かれています。



小中学校の総合的な学習の時間には手話サークルなど年間30〜40時間ボランティアを派遣。

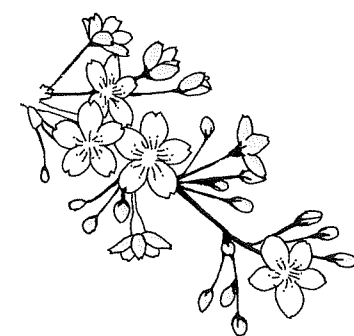
平成9年、登録ボランティアグループによる連絡会が発足。毎年、「福祉ふれあいまつり」などに参加し、朗読ボランティアが詩を朗読すると、それを手話サークルや筆記通訳サークルが連携して通訳をするといった活動で参加者に喜ばれています。また、喫茶店や模擬店も出店するなど、さまざまなイベントに揃って参加することで、グループ間の協力体制も深まってきました。

また、同センターでは年2回、「いずみおおつボランティア情報」を発行するなど、ボランティアの啓発活動にも力を入れています。「この地域はまだまだ昔ながらの人間関係を大切に、親戚づきあいなども盛ん。その反面、新しい人とのつながりができにくい面があるので、気軽にボランティア活動に参加して理解を深めてもらうことが目下の課題です」と、コーディネーターの笠井美恵さんは語ります。

もう一人、同センターを担当するのが、学生時代に障害児のためのボランティアサークルで活動した経験があるという、総務係の村陰嘉高さん。「ボランティアさんはみなさん経験が豊富で、教えられることが多いですね。その経験や技術をぜひ若い世代が受け継げるよう、朗読や手話などの入門講座を開いて参加を呼びかけたい」と意欲的で、これからの活動が期待されています。



笠井美恵さんと村陰嘉高さん



しいクッキーと、いちじくのジャム、そして、きれいな音色のサヌカイト楽器の演奏を収めたCDをいただきました。広報部会河南ブロック担当・宮田信直

泉州

ボランティアする人、 される人の声を聞いて

泉州ブロック交流会

2月15日、岸和田市立総合センターにおいて泉州ブロックの交流会が開催されました。岸和田市ボランティアセンターの現在の登録者数は、グループ29団体（約1000名）、個人160名、NPO登録4団体との報告でした。その後、第26回ボランティアサロンの見学。サロンを始めた動機の一つに、各々のボランティア活動は活発である



が横の連携が不十分。まずはお互いの顔を知ることから始めましょう...という掛け声で始まったそうです。中学生のボランティアクラブの紹介（中学生でもできる範囲でのボランティアをしましょうとのこと）、ブナの植樹やブナ林の調査等を行っている「ブナ愛樹クラブ」の活動紹介などがあり、岸和田筆記通訳サークル「はばたき」には、その場で要約筆記通訳を実際にデモしていただきました。また個人ボランティアの谷口さんのマジックもあり、ゲストスピーカーの視覚障害者の方が「朗読ボランティアのテーブルをいつも聞いています。朗読テーブルは人間の精神に充実感や灯を与えてくれます」との印象深いお話もありました。今回のサロンでは、ボランティアをする人、される人の声を聞くことができ、有意義なひとときを過ごすことができたと思います。最後に、各市町村の活動報告と活発な意見交換の場が持たれました。

アイ・あいロビー運営委員長・東 節子





第10回守口市社会福祉協議会 ボランティアフェスティバル

日時 平成15年7月19日(土) 10:00～15:00
場所 さつきホールもりぐち(市民会館)
地下鉄谷町線守口駅④番口右へ徒歩1分
京阪電車守口市駅北へ徒歩7分
内容 ①ボランティアグループ展
模擬店、バザー、手作り玩具、活動紹介等
②ボランティア体験学習コーナー
高齢者疑似体験、車椅子、点字、歌体操等
③福祉機器展示
④人形劇、紙芝居のミニステージ
⑤大阪府立淀川工業高等学校吹奏楽部
1年生によるファーストコンサート(無料)
問合せ 守口市社会福祉協議会ボランティアセンター
TEL 06-6992-2715



「登録グループのつながりに、ささやかながら貢献できた」大きな喜びを抱いて、私たちはボランティア活動を続けて参りたいと思います。

いきいき歌体操寝屋川グループ
磯江 芳子

当日、私は車椅子ダンスを経験させていただきました。我が身の体重の重さを気にしながら車椅子に乗り、両手をまっすぐ伸ばして、素直に相手方のリードについていくように思いました。手を握りあった瞬間から、踊り手の暖かさや優しさのパワーが胸の奥まで伝わってきて、涙が出そうになりました。ダンス曲に耳を傾けると、今度は心の窓が静かに開いて、「癒しの風」



が体中を駆けめぐります。今日も出席して、本当によかったと思わせた一日でした。

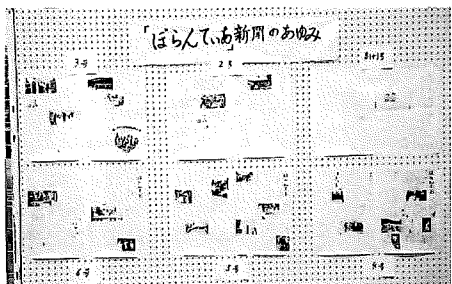
S・Y

河南

楽しかったよ！ 健康福祉まつり

わが町・河南町は、金剛山と葛城山の麓にある、緑に囲まれた小さな自然豊かな町です。河南町にある「やまなみホール」を中心に、毎年5月の第3日曜日に健康福祉まつりが行われます。町内の各種団体が参加するこの催しは、参加する団体がそれぞれの持ち味を出す楽しいイベントです。

私たちボランティア連絡会は、手作りで行っている「ボランティア新聞」を「10年の歩み」としてパネル展示。



また高齢者疑似体験や点字パソコン体験、環境ボランティアが作った竹炭の販売、ボランティアが早朝から作った「かやく御飯」の販売など、盛り沢山のメニューで参加しました。

少し欲張りすぎて、大忙し。とくに竹林公害の話(竹炭の出来るまで)や、点字がパソコンで打てることに参加者は興味を持たれたようで、高齢者疑似体験にも多くの町民の方が、驚きながらも楽しく体験されました。

小さな町の小さな催しですが、こうした体験からボランティア活動の一端を感じていただけたことと喜んでいきます。

河南町ボランティア連絡会 近藤雅美

北摂

「難病について」を テーマに講演会

去る6月10日、北摂ブロック交流会が茨木市の福祉文化会館で開催されました。梅雨入りのために不安定な天候の中、総勢約70名あまりの参加をいただきました。

まず、オープニングにVG「友和会」が大正琴・三味線による「越後獅子」の演奏を、続いてVG「奈良すずらん会」による民謡「花笠音頭」の披露があり、なごやかな楽しい雰囲気のうち



に始まりました。開催にあたり、茨木市社会福祉協議会の橋本会長、茨木市ボランティア連絡会の大藪会長からの挨拶の後、「難病について」をテーマに講演が行われました。

はじめに茨木保険所長より難病に対する事業についての説明があり、続いて神経内科医・上野豊氏より難病についてのお話がありました。話のなか



河北

ブロック交流会の レポートと感想

梅雨に入ったというのに、カラリと晴天の6月21日、多目的室は若さいっぱいの人たちも見えて、あふれんばかりの熱気です。

日頃はお齡を召した方々と一緒にいる私たちは緊張で体が固くなりましたが、「歌体操を知っていたら最高の機会」と、力をこめて演じました。メニューに懐かしい季節の歌や歌謡曲を盛り込んだこともあってか、会場の皆様は本当に喜んでくださいました。互いに手をつなぎ、二重の輪をつくり、スキップ満喫で楽しむ「六甲おろし」「二人は若い」では笑顔々々の花園のよ、した。



阪神タイガースの快進撃が、大きくフォローしてくれたのかも知れません。

終わったあと、多くの方々が「楽しかったよ」「みんなで一緒にできるの



で、「難病には原因のわからないものが多く、最終的には在宅医療になることがあるので、介護にかかわる側にボランティアがどのように取り組んでいくべきか」などの

問題提起もありました。

その後、難病ケースのボランティア活動経験のあるVG「みどり」「ふたば」のメンバーから活動発表、さらに難病を経験された方からの質疑応答などもあり、ボランティアの一員としていろいろと考えさせられる交流会となりました。

茨木市ボランティア連絡会 檀 久枝

市町村ボランティア連絡会 総会を開催

5月17日、大阪社会福祉指導センター5階ホールにて、平成15年度大阪府市町村ボランティア連絡会の総会が開催されました。

事業報告・決算報告に続く役員改正の後、今年度の事業計画・予算案が提案され、拍手で承認されました。

第2部は、「いのち輝くとき」「ふれあい・子育てサロン」という2本のビデオ上映。参加者はあらためて、地域に密着したボランティア活動の重要性を確認しました。なお、新役員は以下の通りです。

会長

北垣 登美 (守口市ボランティア連絡会)

副会長

大藪 幸雄 (茨木市ボランティア連絡会)

山田 雪枝 (大東市ボランティア連絡会)

堀 光雄 (東大阪市ボランティア連絡会)

立石 房子 (岸和田市ボランティア連絡会)

幹事

新家 末子 (豊中市社協ボランティア団体連絡会)

帰山哲太郎 (寝屋川市社協登録
ボランティアグループ連絡会)

谷本 博 (藤井寺市ボランティア連絡会)

大畠しげ子 (貝塚市社協ボランティア連絡会)

監査役

井上 靖雄 (大阪狭山市ボランティアグループ
連絡会)

辻 幸子 (熊取町ボランティア連絡会)

会計

中 恵子 (豊能町ボランティア連絡会)



広報部会

部会長 東 節子 (和泉市アイ・あいロビー運営委員会)

井川美知子 (摂津市ボランティア連絡協議会)

網谷 朝代 (門真市ボランティア連絡会)

近藤 雅美 (河南町ボランティア連絡会)



バリアフリー部会

部会長 畠山 康子 (柏原市ボランティア連絡会)

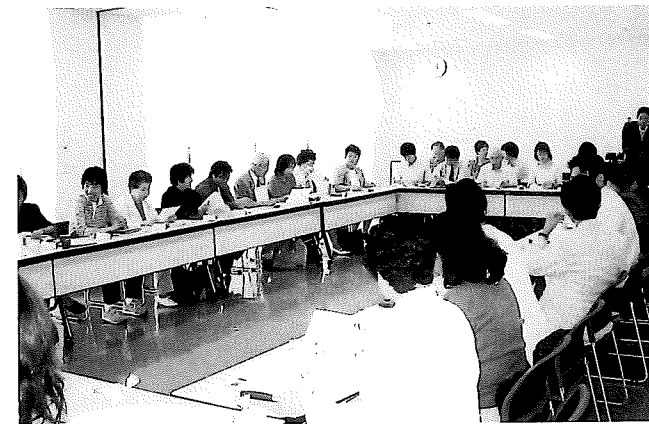
吉田 由巳 (高槻市ボランティア連絡協議会)

栗原清美子 (交野市ボランティアグループ連絡会)

上田 怜子 (高石市ボランティア連絡会)

泉州

和泉市新時代のシンボル 「和泉シティプラザ」にて 泉州ブロック交流会



泉州ブロック交流会を6月8日(日)に、本年度4月27日オープンの「和泉シティプラザ」(市民の生活・文化の活動拠点と新都心のオアシスが融合した複合施設)にて開催しました。当日は、日曜日のブロック交流会にもかかわらず各市区町村ボラ連、担当職員等、40

名の方々に参加していただきました。午前中のブロック交流会は、ボラ連会長の北垣さんの挨拶にはじまり、「アイ・あいロビー」のボランティアコーディネート・村田さんによる「アイ・あいロビー」5年間のボランティア活動報告をしていただき、その後の各市町・活動報告会では、各ブロックでのいろいろな異なる形態のボランティアサロンの紹介が活発になりました。報告会終了後は、「和泉シティプラザ」をビデオにて紹介、和泉市立シティプラザ図書館と「弥生の風ホール」の「アイ・あいロビー」の見学。午後からは一般市民も参加し、「弥生の風ホール」にて「アイ・あいロビー」5周年記念イベント「山田パンダさんの講演とラ



イブ・広げられ！ボランティアネットワークの輪」を開催しました。山田パンダさんはフォークグループ「かがや姫」のメンバーであり、解散後は保育園にて保育補助員も勤められ、当日はその経験を生かした講演に加えて、会場は大いに盛り上がり、最後は、おみ



やげのお花の抽選会で終了。今回のブロック交流会は、「和泉シティプラザ」見学、和泉ボランティア市民プラザ「アイ・あいロビー」5周年記念イベントと、たいへん忙しい交流会となりました。この場をお借りして、交流会に参加していただいた皆様に厚くお礼を申し上げます。「どうもありがとうございました。」

和泉ボランティア市民プラザ
「アイ・あいロビー」
運営委員長 東 節子





河南

来て・見てボランティア展

柏原市

平成15年9月6日(土)、柏原市ボランティア連絡会では手作りの「来て・見てボランティア展」を柏原市健康福祉センター(通称オアシス)で開催しました。

このボランティア展は各ボランティアグループが日頃の活動と内容を広く一般の方々にも知って頂き、理解を得るためのPRと、ボランティア会員相互の親睦を目的として開催しています。

ボランティア展は畠山会長の開会挨拶、柏原市市長、柏原市議会議長、副議長のご挨拶を頂き、基調講演には特別講師として、和歌山県有田市在住の

第1回 門真市ボランティアグループ 連絡会ボランティアフェスティバル

門真市内のボランティアグループが、「環境とリサイクル」をテーマに日ごろの活動を多くの市民の方々に知ってもらうために開催します。

日時：平成15年11月16日(日)
10:00～15:00
場所：門真市リサイクルプラザ(エコ・パーク) 4F
門真市深田町19-5
TEL 06-6909-4431
京阪電車門真駅 南へ徒歩10分

内容：○近隣の幼稚園児の鼓笛隊による演奏
○ボランティアグループ活動紹介
1、パネル展示による啓発
2、マジック、車椅子ダンス、朗読等のパフォーマンス
3、介護用品の展示・販売
4、リサイクル作品の展示・販売

問合せ：門真市ボランティアセンター
TEL 06-6902-6453



北摂

『防災訓練』に参加

能勢町

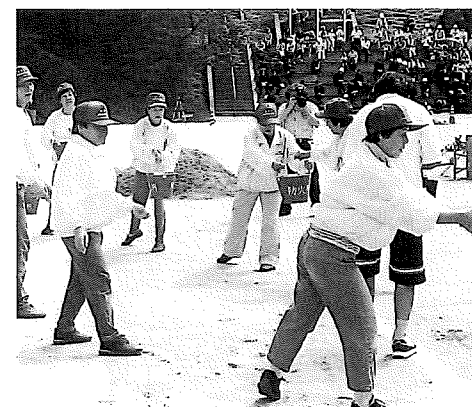
去る8月30日、平成15年度の豊能地区3市2町合同防災訓練が能勢町名月グラウンドで開催され、能勢町ボランティア連絡会より25名が参加しました。

当日は汗びっしょりになりながら、「初期消火訓練」「水道管復旧・応急給水訓練」、そして「非常食炊き出し訓練」に参加しました。

「初期消火訓練」では、能勢町消防団・能勢町職員の皆さんと消火器やバケツを使用し(バケツリレー)、倒壊家屋等から出火した火災の初期消火の

訓練をし、「水道管復旧・応急給水訓練」では地震により破損した配水管を復旧するとともに、仮設応急水栓を設置し、飲料水袋を使用して飲料水の確保を図る訓練がなされました。そして「非常食炊き出し訓練」では、避難所生活を余儀なくされた住民への食料として非常食(アルファ化米)の炊き出し訓練が行われ、この訓練では「お弁当調理ボランティア」の皆さんが日頃の活動経験を大いに発揮され、充実した一日となりました。

参加したメンバーたちは、「暑かったけどいい経験になった」「バケツリレーは生まれて初めて経験した」など、さまざまな意見を述べていました。



河北

第10回記念ボランティア フェスティバルを盛大に開催

守口市



今年も満員の盛況ぶりでした。また大ホールでは、原会長より10周年の感謝の気持ちを来場している皆さんに伝えました。

この催しを長年続けてこられたのも、市民の皆さんにボランティアのことを理解していただき、ボランティア活動の大切さや、活動内容の多さなどを知ってもらう機会として活用してきただからだと思います。

会場内では、各ボランティアグループがそれぞれ模擬店やバザーを出店し、特設ステージでは紙芝居や人形劇、歌体操、銭太鼓など、日頃の活動を見てもらおうとステージいっぱい披露し、おりがみ教室や手作りおもちゃ教室、点字教室は子どもたちに大人気でした。

参加した市民の皆さんに、高齢者疑似体験や車椅子体験をしてもらおうと、事前に研修を受けたボランティア推進部会員たちが熱心に指導していました。

このボランティアフェスティバル全体を通して、会場を広げ、混雑が少なくなるよう心がけ、各グループから会場内の役割にも参加があり盛況のうちに終えることができました。

今年の守口市社会福祉協議会ボランティアフェスティバルは、10周年という節目を迎え7月19日に開催されました。オープニングセレモニーにはたくさんの方々が集まりいただき、原会長による開会宣言の後、淀川工業高校吹奏楽部のファンファレが、オープニングに花を添えました。

大ホールでは淀川吹奏楽部1年生によるファーストコンサートが行われ、



した。

講演終了後、それぞれのブースに戻り来場者に対応しました。

会場は1階と3階の2会場に分け、活動グループを大別して「参加体験型」と、「見て聴いて楽しむ観覧型」グループに分けて行いました。

まず「参加体験型」は主として色々な物作りに参加し体験することでお互いに楽しむ、例えば、端切れなどを利用して小物を作る手芸、間伐材を使った自然木工細工、手作りの絵手紙、ミニ掛け軸作りなど。一方「観覧型」は主に高齢者の方々に楽しんで頂く舞踊、聴いて楽しむ大正琴演奏、コーラス、ハンドベル演奏やいきいき歌体操など、また子ども向けには人形劇、紙芝居、絵本の読み聞かせなどでお互いが楽しむなど。

その他介護用品の展示と対話、自助具の展示と対話やフラワアレンジ品の展示などで多くのご来場の方からご好評を頂き、明日からまた新たな気持ちでボランティア活動にがんばりたいと思っています。

柏原市ボランティア連絡会
広報担当 米田 直史



情報コーナー

泉州

青春Vネットワーク
「過ぎ行く夏を楽しもう!!」に
参加して

岸和田市



8月31日(日)、大阪府羽衣青少年センターにて開催されました「青春Vネットワーク」に参加してきました。当日の参加者は30名。「青春Vネットワーク」とは、岸和田市ボランティアセンターで活動している若者たち(高校生～30代)を中心に構成されており、ボランティア活動をする上でのいろいろな悩み等を共有できる場をつくらう

との呼びかけで発足したそうです。当日は17時集合(中心スタッフの方々はもっと前から頑張っておられた様子、ご苦労様でした)。司会者の挨拶に始まり、自己紹介、ミニゲームによるグループ分けとテンポよく流れていき、バーベキューの際には各グループ共、それぞれのボランティア活動をしていく上での悩み等が話し合われ、大いに盛り上がりつつありました。18時30分より、場所を移しての「キャンプファイヤー」。リーダーの方のリードによる簡単なゲーム、フオークダンス、さらに蛇味線とギターによる伴奏も入った「S.M.A.P」と「BEGIN」の歌の大合唱。そして最後には、若者によるファイヤーダンス(ハワイで男性が両手にたいまつを持って踊るダンス)、これには参加者一同びっくり! 拍手喝采。最後の最後まで楽しませていただきました。今後ともこうした催しにより「青春Vネットワーク」の若者たち同士の交流がさらに深まることを期待しています。

和泉ボランティア市民プラザ
「アイ・あいロビー」運営委員長
東 節子

■広がり! ボランティアの輪 in みのおフェスタ
いきいき祭り

～こころ つながる 新しいまち～

日時/平成15年11月8日(土) 10時から15時

場所/かやの中央 みのお市民活動センター および周辺

内容/木工細工、布おもちゃづくり、アートバルーン、シニア体験、人形劇他 小中学生の絵コンクール、ボランティア相談窓口
主催/社会福祉法人 箕面市社会福祉協議会

広がり! ボランティアの輪 in みのおフェスタ実行委員会
後援/箕面市・箕面市教育委員会

■ボランティアセンター20周年記念事業
バリア・フリー・トーク
～ケイコゼミの公開講座～

ボランティアセンターだより ボラ菱
大人気コラム「バリア・フリー・トーク(ケイコゼミのこぼれ話)」の著者、加納恵子さんをお招きします。(入場無料)

日時/平成15年11月9日(日) 13時30分～16時

場所/かやの中央 みのお市民活動センター 多目的室

基調講演/光華女子大学 加納恵子さん
パネルディスカッション/光華女子大学 加納恵子さん 田中滋子さん 梅花女子大学 院生 今井雅子さん他

■ふくしまつり 運営ボランティア
大募集!

福祉関係団体やボランティアグループのみなさんの力を合わせて開催します。できるだけたくさんお友だちを誘って、一緒にお手伝いしてください。

日時/平成15年11月9日(日) 雨天決行
集合時間/午前9時30分(10時スタート)
解散予定/午後5時

集合/開催場所/藤井寺市立福祉会館
(ふれあいセンター)

当日の役割/会場設営、会場清掃、体験コーナーの受付・整理、障害をお持ちの来客者の案内・補助、会場までの誘導、駐輪場の整備、物品の運搬など
募集人数/30人(男女問わず)
問合せ先/藤井寺市社会福祉協議会ボランティアセンター
TEL 0729(38)8220

■編物教室に参加しませんか

高齢者外出介助の会では、毎月第2水曜の13時30分から、大阪社会福祉研修センター地下1階にて表記の催しを開催しています。先生2人にきていただき、初めての方でも手とり足とり、誰でもできるように教えていただいています(参加費用500円)。

連絡先/高齢者外出介助の会
TEL・FAX
06(6764)4002

バリアフリー部会を開催

平成15年度第2回バリアフリー部会が8月18日に開かれました。

今回、話題にのぼったのは情報伝達という点から、視覚障害者へのバリアについてでした。

バリアフリーというと車椅子利用者や視覚障害のある方に対しての道路や施設の構造面に意識が向きがちですが、見た目にはわかりにくい聴覚障害者に対する対応が遅れているのではないかと意見が出ました。

生まれつき聴力に障害のある人は、手話を言葉の伝達手段としてきていて、文字を読んでもすばやく意味を理解することができにくい人が多い。逆に中途失聴者では手話を覚えにくいので、文字のほうがよく伝わる。だから講演会などでは、要約筆記と手話通訳の両方が必要である。

狭い道などで自転車などが近づいてきてもわからず、怒られたことがある(難聴者)
手話通訳でも100%伝えることができない。聴覚障害者は通訳してもらっていないことがあると感じたとき、周囲から疎外されたように思われることがあるので、聴覚障害のある方の心理を理解しなければいけない。
手話にも方言のように地方性があるが標準化が必要ではないか?
駅で事故などが起こったときもア

ナウンスが聞こえないので訳がわからず困ることがあるので電光掲示板の設置が望まれる。
病院で順番を待つて呼び出されても聞こえなくてわからないことがある。

わが国の国民性なのか町で困っている人がいてもさっと手を出す人が少ないという意見もありましたが、設備が不十分であつても人の心が暖かければ、バリアを感じずに、街に出て行けるのではないかと話になりました。しかしいよいよ「おねがいします」と言わなければ自由に歩けない町というのは、少し寂しい気がします。

その他には、バリアに関するある調査で放置自転車や商店が置いた看板など、人が作っているバリアも多いという結果がでているということや、バリアは障害者といわれる人たちだけでなく、性によっても起こりうるという話も出ました。

参加者14名で、話はあつちいたりこつちにきたりと系統的にまとまった話にはならなかったのですが、わいわいがやがやと井戸端会議的な話の中に、私たちの意識改革のヒントが見つかったのではないかと思います。

交野市ボランティアグループ
連絡会 栗原 清美子

ONPP分室からのお知らせ

■ボランティアのこころ、NPOのこころ
「はじめ」から「これから」まで

相談コーナーを開設しています

ボランティア・NPOに関することについて、コーディネーターが幅広くお応えいたします。

日時/毎週木曜の14時～17時

場所/大阪NPOプラザ2階 大阪YMCA市民活動推進センター

主催/大阪府ボランティア・市民活動センター 大阪YMCA市民活動推進センター

問合せ/FAx06(6762)9679
e-mail/osakap@osakafusyakyok.or.jp

■大阪NPOプラザ1周年記念
イベント「ONPPフェスタ」

大阪における市民活動の総合支援拠点「大阪NPOプラザ」が、開設1周年記念の催しを開催します。(予定)

10月26日(日) (フリーイベント)

●園芸療法プログラム

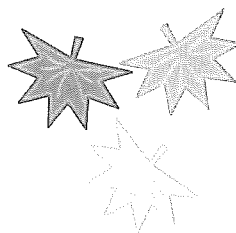
10月31日(金)

- あらたな生きがいの創出
- 宅老所・グループホームの可能性
- NPO/NGOの国際協力を考える
- 「協働」と自治のフォーラム
- ボランティア・NPO市民交流サロン
- 大阪ボランティア協会・英語情報強化チームEボラ

- 11月1日(土)
- はじめてのNPO説明会
- あらたな生きがいの創出
- 開発教育って何?
- さあ選ぼう! 介護保険サービスを!
- OSAKA NPOアワード2003
- 大阪ボランティア協会・英語情報強化チームEボラ
- 英語手話講座/アメリカの手話を中心に
- 11月2日(日)
- チヨコット栄養診断
- 病院ボランティアって?
- 障害のある子どもない子もよって!
- 自己を助け、地域を救う
- 「じつとりハープ水」作り
- HIV/AIDSのご知ってますか?
- 大阪のボランティア活動
- いろいろ相談コーナー

このプログラムはそれぞれ、ONPP入居団体が主催します。詳しい内容・時間帯等は、NPOプラザ事務局を通じて各主催団体にお問い合わせください。その他バザーや模擬店、ステージのパフォーマンスなどでイベントを盛り上げます。

問合せ 大阪NPOプラザ事務局
TEL 06(6465)8390



北摂

交流を深めたバスツアーや、視覚障害者との集い

摂津市

去る9月27日、秋の交流バスツアーを開催、名古屋方面「なばなの里」へ行きました。V連会員42名が参加し、当日は、お天気もよく、ボランティア同士の交流が深まる1日となりました。



10月29日には、作業療法士を講師に、車いす講座を開催。車いすを押したり、乗ったりするだけでなく、トイレへの移乗やリフト車の試乗体験もしました。参加者からは、「介護は力任せにするのではなく、ちょっとしたコツでできるとわかって、大変参考になった」、「リフト者実際に乗って、車いすを利用されている方の気持ちがよくわかった」、「車いすに乗ってみて、とても怖

いただきました。

また、「なかなか情報が入らなくて、福祉の制度もよくわからない」というご意見もあり、視覚障害のある方々へ、いかに情報を届けるか、課題も見えた交流会となりました。

摂津市ボランティア連絡協議会

河北

河北ブロック交流会で各市の活動報告や情報を交換

枚方市

11月20日(木)、枚方市立総合福祉会館「ラポールひらかた」大研修室において、河北ブロック交流会が開催されました。主催は、私たち枚方市ボランティアグループ連絡会でしたが「枚方ボラ連だけでも45グループあり、どうすればすべてのグループを他市の方々に紹介でき、交流できるか」...が頭を悩ました最大の課題でした。何回も会議を重ね、「各市のテーブルに枚方ボラ連のメンバーを数名配置し、またグループごとにパネルを作成してもらい、活動紹介を通して交流を図ろう」ということになりました。当日は枚方ボラ連から51名が参加し、各市からは24名が枚方の地を訪れてくださいました。

「ひこばえ」にはババロアのお菓子和紅茶をつくってもらい、茶菓子を囲みながら、なごやかに交流が進みました。またパネルを囲んで「活動の中で悩みはない?」「メンバーがなかなか集まらなくて」など、情報交換しているグループが多々ありました。

続いて、わたぼうし語り部所属の古谷妙子さんから語りの披露があり、最後に牧野ハーモニカ同好会によるハーモニカ演奏で閉会となりました。

退場時に、各市の皆さまに手づくりのお土産を渡しながら、「お互い頑張ろうね」と誓い合いました。当日、ご参加いただきました河北ブロックの皆さま、本当にありがとうございました。

枚方市ボランティアグループ連絡会 代表 磯辺久江



河南

4つの課題について議論した河南ブロック交流会

八尾市

11月29日、八尾市在宅福祉サービスネットワークセンター(サポートやお)にて、河南ブロック交流会が開催されました。あいにくの雨の中、各市町ボランティア連絡会・担当職員など、総勢70名が参加しました。

交流会は、NPO法人「参加型開発研究所」代表の中田豊一さんの基調講演から始まりました。中田さんは数多くの大学でボランティアに関する講座をもっておられ、また海外でのNGO経験も豊富。「ボランティア」について、改めて



次に、基調講演をふまえ、

①役員のなり手がみつからない! ②若い仲間が集まらない! ③男性の会員が増えない! ④財源確保をどうしよう! という4つの分科会に分れて話し合いました。それぞれのグループの活動内容や背景は異なりますが、お互いに情報交換を行うことができたのではないかと思います。時間が足らず、議論を深められなかったのは残念でした。

「それぞれのグループが抱える課題を解決し、組織を活性化するためには、中心となって活動している人たちがどういう取り組みをすればよいか」ということに対するヒントがたくさんあった交流会だったと思います。

泉州

「さかいボランティア・市民活動フェスティバル」を開催

堺市

10月26日、さかいボランティア・市民活動フェスティバルが、52のグループの参加のもと開催されました。パネル展示では30グループのパネル展示があり、なかでもボランティア連絡会による、会員115のボランティアグループを紹介した5枚のパネルは各グループの活動が一目瞭然に分かるものでした。その他フリーマーケットやミニステージ、工夫をこらした出し物で日ごろの活動を市民のみなさんに紹介しました。



また、親子の楽しい一日体験教室や、痴呆の父親の介護に振り回された家族が地域の支えなどにより家族の絆を取り戻していく様子をユーモラスに描いた映画の上映などでは、多くの感銘を受け、当事者だけの課題ではなく、地域や自分たちの課題として認識する第一歩にもなりました。

秋の一日を市民のみなさんに楽しんでもらおうと計画された第1回フェスティバル。多くの市民の方々の参加のもと大いに盛り上がり、これからのさらなるボランティア活動の飛躍に期待がもてたものとなりました。



今号は勤労者が関わっているボランティアについてレポートしていただきました。

北摂

企業もボランティアで 地域に貢献

箕面市

ボランティアグループ「大山観光グループ」は、平成8年に発足しました。地域と調和のとれた企業づくりを目指すと同時に、企業活動を通じて社会参加を行うことを目的として活動しています。

登録社員は約100名。仕事から休みが不定期なので、その合間をぬっての活動ですが、箕面市内の障害児者のバザーや夏祭り、療育キャンプ等での介助、保育、お手伝いに参加しています。また、箕面市社協ボランティアグループ連絡会へは役員として参加しており、ボランティアフェスティバルでは物品寄付や連絡会のブースを積極的に担当するなど、企業ボランティアとしての特徴を活かした活動をしています。

さて、実際に参加した社員からは、「障害を持った方とともに天保山のあらゆるところに出向き、映画鑑賞、ショッピングなどを楽しく頂くためのお手伝いを行いました。個人的には、車椅子の扱い方はかなりなれたので、食事介助をうまくできるような、と思っていました。実際はなかなか難しかったです。次回、参加する際にはぜひ食事介助をマスターしたいと思っています。」

「す」との声。
毎年4月に入社する新入社員も、学生の頃からボランティア活動に興味を持っており、若いうちから、若いうちから地域でのボランティア活動に参加していきたいと思っています。

河北

勤労者が集うボランティア サークル「きんたろう」

守口市

毎週、水曜日の午後6時頃、仕事を終えた人たちが守口市社協のボランティアルームに次々に集まってくる。この光景も20年目になります。知的障害者の余暇活動を応援することを目的に、市内で働く勤労者が数人集まり、障害のあるなしに関係なく一緒に何かできれば、との思いから活動が始まりました。現在、メンバーは98名。守口市在住



たく違う環境で、色々な職種の人と一緒に活動することで気分も変えることができ、広く社会に対して視野を広げることが出来ます。誰でも参加できるのがボランティアの良いところ。
主な活動は、2カ月に1回のペースで、ボランティアと障害者の仲間あわせて30〜60名が集まって遊び（ハイキング、USJ、キャンプ、映画館、ボウリング、パーティー、雪遊びなど）に行きます。どこに行くかは、仲間の意見を聞いて、企画会議にあたる定例会で詳細を決定します。会費は徴収せず、行事ごとに参加者全員で負担しています。

中でも、とくに力を入れている行事は「サマーキャンプ」です。毎年、観光バスで琵琶湖にある松の浦キャンプセンターに約60名で訪れ、3日間一緒に生活します。このキャンプの準備が始まるのが1月頃で、食事のメニュー作りでは、薪で短時間で調理ができて、無駄のない材料配分で、喫茶店勤務の人たちが中心になって献立を考えます。
キャンプ本番、裏方にあたる後方スタッフに役割が振り分けられ、勤務先から借りたトラックなどに食料や機材を積み込み、運搬し、食事作り、プログラムの進行、24時間交替で見守り。初めて参加する勤労者や学生たちにも楽しんでもらえるよう、雰囲気作りにも心がけ、キャンプ中のルールも最小限度にしています。また中には、このサマーキャンプに会社の休暇を合わせて、家族サービスの一環で参加してく

講座情報

●精神保健福祉ボランティア講座
ストレスの多い社会の中で、こころの病は誰もがなりえる病気といわれます。この講座を通して、私たちでできることをみんなで考えてみませんか。

日 時／7月23日(金) 午前10～12時(講演)、午後1～3時(ふれあいゲーム)
7月27日(火) 午前11～12時(講演とビデオ観賞)、午後1～4時(講演とグループワーク)

対 象／守口市・門真市に在住、在学、在勤でボランティア活動に関心のある人
場 所／さつきホールもりぐち(守口市市民会館) 守口市京阪本通2-13-1
申し込み／守口市障害福祉課 TEL(06)6992-1221 内線452
門真市障害福祉課 TEL(06)6902-6154
受付期間／6月7日(月)～18日(金) 参加費は無料

河南

真面目になり過ぎず、 ゆとりをもってボランティア

河南町

社会人として一家を支える立場にあり、自分の生活を犠牲にしてまでボランティア活動とはいきません。50代に手が届きそうな年齢になり、定年後、何を楽しみにして、社会や地域とどういったつながりをもって生きていけばいいのかを考えはじめました。そこでボ

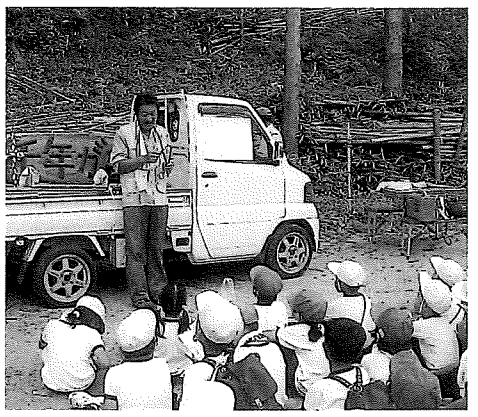
ランティア活動も日常生活の選択肢の一つと思いい、時間的制約のなか、以前より関心のあった「環境ボランティア」を選びました。一年間に数回ほどの活動を目標にして、いつでも止められると、軽い気持ちでの参加でした。始めてみると、ボランティアに興味

泉州

岸和田市障害者学級 しゃぼんだま

岸和田市

「さあ、みんないっしょでえー」。今日は、毎月第2日曜に開かれる学級日(みんなで活動する日)です。岸和田



淡路大震災でのボランティアの活躍で、社会的に認められました。これからは高齢化に伴う介護、少子化、環境問題など組織活動への期待が高まるとともに、その果たす役割も大きくなってきています。これから先も、多くの人の出会いを大切に、真面目になり過ぎず、ゆとりをもって楽しさを前提として気ままに参加していこうと思っています。
河南町ボランティア連絡会 新川久一

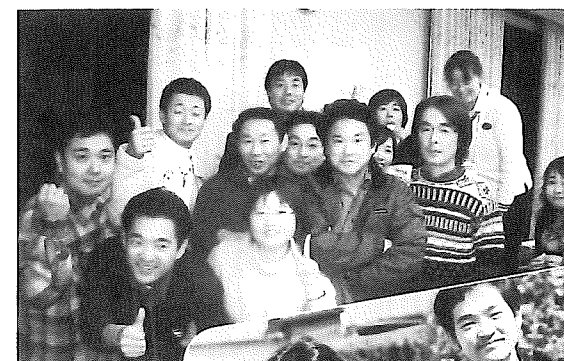
大阪府内のボランティアセンター一覧

市町村名	所在地	電話	FAX
北 摂			
池田市	563-0041 池田市満寿美町6-23	072-753-8858	072-753-3444
茨木市	567-0888 茨木市駅前4-7-55 茨木市福祉文化会館内	072-627-0033	072-627-0434
島本町	618-0022 島本町桜井3-4-1 ふれあいセンター内	075-962-5417	075-962-6325
吹田市	564-8555 吹田市出口町19-2 吹田市立総合福祉会館内	06-6339-1210	06-6339-1202
摂津市	566-0022 摂津市三島1-1-1 摂津市役所西別館内	06-6318-1128	06-6383-9102
高槻市	569-0067 高槻市紺屋町3-1-303 グリーンプラザ3号館3階	072-683-2200	072-683-2209
豊中市	561-0881 豊中市中桜塚2-28-7 豊中市立福祉会館内	06-6848-1000	06-6841-2388
豊能町	563-0101 豊能町吉川187 町立保健福祉総合施設豊悠プラザ内	072-738-5370	072-738-0524
能勢町	563-0341 能勢町宿野114	072-734-0770	072-734-2623
箕面市	562-0015 箕面市稲1-14-5	072-722-2737	072-723-2106

河 北			
交野市	576-0034 交野市天野が原町5-5-1 交野市立保健福祉総合センター内	072-894-3737	072-894-3738
門真市	571-0064 門真市御堂町14-1 門真市保健福祉センター内	06-6902-6453	06-6904-1456
四條畷市	575-0054 四條畷市中野新町11-31 四條畷市立福祉コミュニティセンター内	072-878-1210	072-878-6888
大東市	574-0037 大東市新町13-13 大東市立総合福祉センター内	072-874-1082	072-874-1828
寝屋川市	572-0036 寝屋川市池田西町28-22 寝屋川市立総合センター内	072-838-0400	072-838-0166
枚方市	573-1191 枚方市新町2-1-35 ラポールひらかた内	072-841-0181	072-841-0182
守口市	570-0083 守口市京阪本通2-13-1 さつきホールもりぐち内	06-6992-2715	06-6993-0134

河 南			
大阪狭山市	589-0021 大阪狭山市今熊1-85 大阪狭山市福祉センター内	072-367-1761	072-366-7407
柏原市	582-0018 柏原市大泉4-15-35	0729-72-6760	0729-72-6760
河南町	585-0014 河南町大字白木1387 やまなみホール内	0721-93-6222	0721-93-6550
河内長野市	586-0041 河内長野市大師町26-1	0721-65-0133	0721-65-0143
太子町	583-0991 太子町大字春日963-1 総合福祉センター内	0721-98-1311	0721-98-2111
千早赤阪村	585-0041 千早赤阪村大字水分195-1 保健センター内	0721-72-0081	0721-70-2037
富田林市	584-0037 富田林市宮甲田町9-9 富田林市総合福祉会館内	0721-25-8200	0721-25-8230
羽曳野市	583-8585 羽曳野市誉田4-1-1 羽曳野市立総合福祉センター内	0729-58-2315	0729-58-3853
東大阪市	577-0054 東大阪市高井田元町1-2-13 東大阪市立総合福祉センター内	06-6789-5550	06-6789-5611
藤井寺市	583-0035 藤井寺市北岡1-2-8 ふれあいセンター内	0729-38-8220	0729-38-8221
松原市	580-0015 松原市新堂1-589-6 松原市立総合福祉会館内	072-333-0294	072-336-0806
美原町	587-0002 美原町黒山782-10 美原総合福祉会館内	072-362-3939	072-362-1798
八尾市	581-0018 八尾市青山町4-4-18 サポートやお内	0729-25-1045	0729-25-1161

泉 州			
泉大津市	595-0026 泉大津市東雲町9-15 泉大津市立総合福祉センター内	0725-23-1393	0725-23-1394
和泉市	594-0041 和泉市いぶき野5-1-7 アイ・あいロビー内	0725-57-0294	0725-57-3294
泉佐野市	598-0007 泉佐野市上町1-2-9 泉佐野市立福祉センター内	0724-64-2259	0724-62-5400
貝塚市	597-0083 貝塚市海塚319-1 貝塚市合同センター内	0724-39-0294	0724-39-0035
岸和田市	596-0076 岸和田市野田町1-5-5 岸和田市立福祉総合センター内	0724-30-3366	0724-30-3367
熊取町	590-0451 熊取町野田1-1-8 熊取ふれあいセンター内	0724-52-6001	0724-52-2658
堺市	590-0078 堺市南瓦町2-1 堺市総合福祉会館内	072-232-5420	072-221-7409
泉南市	590-0521 泉南市樽井1-8-47 泉南市総合福祉センター内	0724-83-0294	0724-83-0294
高石市	592-0011 高石市加茂1丁目20-12	072-261-3656	072-261-9375
田尻町	598-0091 田尻町嘉祥寺883-1	0724-66-5015	0724-66-8841
忠岡町	595-0812 忠岡町忠岡中2-16-25	0725-31-1666	0725-31-3555
阪南市	599-0292 阪南市尾崎町35-1 阪南市役所内	0724-71-5678	0724-71-7900
岬町	599-0303 岬町深日3238-24	0724-92-0633	0724-92-5701



「ボランティアは毎週土曜日の午後7時から9時までワイワイ楽しくミーティングをして、学級日の内容や学級運営について話し合い、また交流を深めています。」

「岸和田市障害者学級しゃぼんだま」は1981年に結成され、岸和田市ボランティア連絡会に所属するボランティアサークルです。ボランティアは高校生から30代の人たちで、職種も会社員、公務員、福祉職、看護職、そして学生などさまざまな分野の人が集まっており、市外からの参加者も少なくありません。

「ボランティアは毎週土曜日の午後7時から9時までワイワイ楽しくミーティングをして、学級日の内容や学級運営について話し合い、また交流を深めています。」

「ボランティアは毎週土曜日の午後7時から9時までワイワイ楽しくミーティングをして、学級日の内容や学級運営について話し合い、また交流を深めています。」

「ボランティアは毎週土曜日の午後7時から9時までワイワイ楽しくミーティングをして、学級日の内容や学級運営について話し合い、また交流を深めています。」

「ボランティアは毎週土曜日の午後7時から9時までワイワイ楽しくミーティングをして、学級日の内容や学級運営について話し合い、また交流を深めています。」

「ボランティアは毎週土曜日の午後7時から9時までワイワイ楽しくミーティングをして、学級日の内容や学級運営について話し合い、また交流を深めています。」

「ボランティアは毎週土曜日の午後7時から9時までワイワイ楽しくミーティングをして、学級日の内容や学級運営について話し合い、また交流を深めています。」

大阪ボランティア情報ネットワークのホームページアドレスが変更されました。

<http://www.osakafusyakyo.or.jp/ovn/>

ボランティアしたい人、求める人の出会いをコーディネート
（ボランティア情報満載のホームページ）

※登録に関するご相談、お問い合わせは下記まで。
〒542-0065 大阪市中央区中寺1-1-54
大阪社会福祉指導センター内
社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
大阪府ボランティア・市民活動センター
TEL (06) 6762-9631
FAX (06) 6762-9679
本ホームページは大阪ボランティア情報ネットワーク運営協議会により運営されています。



います。こんな「しゃぼんだま」に、あなたもぜひ、一緒に参加してみませんか！
今後の活動スケジュールとしては、

5月16日（日）にハイキング、6月13日（日）に創作活動、7月11日（日）にボーリングを予定しています。